

テレコーラスプロジェクト

コロナ禍転じて 楽となす

5月7日、合唱指揮者の本山秀毅氏が、コロナ禍における閉塞感打破を願い、テレワークによる合唱を facebook に提案しました。

「守旧派の一撃」と題する提言で、ご自身は合唱に関してはいわゆる「従来型」の価値観に身を置いている「こちら側」の人間と自認されています。合唱活動のほとんどが中止や延期に追い込まれている現在、何か一石を投じたいと仲間とともに始めたトライアルです。

主催者は、**高内 章、下園大樹、坂井威文、本山秀毅、三好草平、本間裕大、中川美季子、山口 敦、加藤麻里**の9氏が構成するテレコーラスプロジェクト実行委員会。正式な参加要項は5月中旬に発表予定とのこと。プロジェクトへの積極的な参加を求めています。

テレコーラスとは？

テレコーラスとは、テレ=遠隔+コーラス=合唱の造語で、合唱の新たな形態としています。合唱は「同じ場所と時間を共有する」ことが基本的な条件ですが、それが不可能な現在、場所と時間の共有を超える合唱の可能性として「リモートコーラス」「ヴァーチャルクワイア」などの試みが盛んに行われています。

プロジェクトでは、これにより「個人スキルの向上」「新たな表現の方法」「演奏団体の交流」などを、後々も利用できる「パンドミック・レガシー」として残すことを目指しています。

◎テレフェス『群青』

伴奏音源に合わせて自分のパートを歌った音源を送付すると、プロジェクトが大合唱にまとめあげます。合唱祭などで行われる合同合唱のイメージです。今回は『群青』を管弦楽伴奏で作り上げる予定です。

☆群青 [混声四部合唱] ☆

東日本大震災を原因に起こった原発事故のため避難を余儀なくされた福島県南相馬市立小高^{おだか}中学校の生徒たちが、離ればなれになった友への想いや、ふるさとでの再会への決意を歌った曲。2013年「Harmony for Japan 2013」として行われた復興支援コンサートをきっかけに広く知られ、日本に限らず海外でも演奏され、大きな感動を呼んでいます。

◎テレコン

参加者の演奏動画を YouTube にアップし、事前登録者による投票によって表彰するコンクール、コンペティション部門が創設されます。審査員による優秀作品選出もあります。参加費は無料、クラウドファンディングによる資金集めも視野に入れています。参加規定はなるべくシンプルにして参加しやすくしたいとしています。

オンラインレッスンの手引き PC がなくてもスマホでできる

パソコン環境がなくてもスマホがあれば、オンラインでレッスンできる方法を詳しく解説した「オンラインレッスンの手引き」を聖徳大学音楽学部准教授の菅野雅紀氏がネット上に公開。

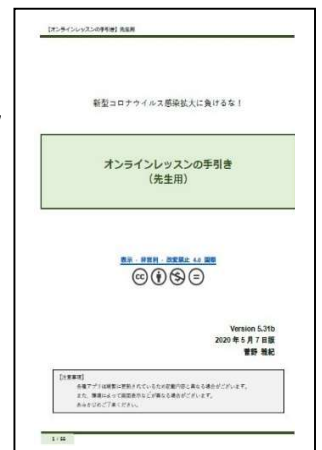
先生用と生徒用の二種類あり、それぞれ55頁、33頁もあるしっかりしたもので、画像なども駆使し分かりやすく書かれています。

菅野氏は、「これからはインターネットの時代だと、心躍らせている専門家は一人もいません。音楽実技のレッスンとしてマイクとスピーカーを通したレッスンが好ましくないことは150%承知の上で、それでも「音楽を学ぶことをやめないでいくため」の模索として、インターネットを利用していきます。この基本を忘れることなく、できるだけ早く対面レッスンが可能になる日が来ることを願っています。」と述べています。

使うのは Zoom。但し PC 用ソフトを推奨しています。スマホ版は音質面で PC 版に大きく劣るといいます。さらに Zoom に加えて Discord (ディスコード) の併用も推奨しています。また、より高音質を求めるための NetDuetto についても解説しています。

【手引き PDF のダウンロード】は下記 URL からどうぞ。但し、今お読みのものが画像の場合はリンクしていませんので、お手数ですが次のサイトより PDF 版をご覧ください。

<http://www.max.hi-ho.ne.jp/rkato/>



先生用

https://www.masanorisugano.com/download/Guide_Online_Lessons_for_Teachers_v5_3.pdf?fbclid=IwAR0norZocKXxKKDACKvuoVh0s4iuXahDYOsIVRbXorweAL04HRvGJ0PFSM

生徒用

https://www.masanorisugano.com/download/Guide_Online_Lessons_for_Students_v5_3.pdf?fbclid=IwAR2UA_oJa49zHs4Axi5HSJlotQjN7R6BAI7rZRt-TQomf1CPYIMPTqJ1nGg